

## 国から再検証を求められた県内の公立・公的医療機関の取組状況

## 1. 再検証対象医療機関について

国は、県内の公立・公的医療機関34（公立17、公的17）病院のうち、急性期病床を有する30（公立15、公的15）病院について検討を行い、令和元（2019）年9月26日、診療実績が特に少ないこと又は類似の診療実績を有する近接する2つ以上の医療機関がある13（公立10、公的3）病院を再検証が必要な医療機関として公表した。

## 2. 再検証対象医療機関の状況等について

医療圏	病院名	公立・公的の別	R3.2.28時点の取組状況 又は再検証合意内容	再検証の合意状況
県南東部	岡山市立せのお病院	公立	病床転換済 急性期60床→回復期60床	不要
〃	岡山市久米南町組合立 国民健康保険福渡病院	〃	減床及び病床転換済 急性期60床→回復期52床	不要
〃	総合病院玉野市立 玉野市民病院	〃	三井玉野病院と統合 (2病院減床274→190床)	○
〃	備前市国民健康保険 市立備前病院	〃	リハビリテーションの充実など地域 包括ケアを推進	
〃	備前市国民健康保険 市立吉永病院	〃	一部を病床転換予定 急性期10床→回復期10床	
〃	瀬戸内市立 瀬戸内市民病院	〃	一部を病床転換予定 急性期30床→回復期30床	
〃	独立行政法人労働者健康安全機構 吉備高原医療リハビリテーションセンター	公的	高度で専門的なりハビリテーション 医療を提供	
〃	赤磐医師会病院	〃	一部を病床削減予定 急性期12床	
県南西部	笠岡市立市民病院	公立	減床 急性期160→60床 (慢性期34→回復期39床)	○
〃	井原市立井原市民病院	〃	一部を病床転換予定 急性期15床→回復期15床 急性期救急患者に対応	○
〃	矢掛町国民健康保険病院	〃	高齢者等の急性期医療、救急対応体制を確保するため、急性期病床を維持	○
〃	国立病院機構 南岡山医療センター	公的	一部を病床転換予定 急性期62床→回復期他57床 セーフティネット系医療及び地域の救急医療を提供	○
津山・英田	鏡野町国民健康保険病院	公立	病床転換予定 急性期48床→回復期48床	○

※13医療機関（県南東部8、県南西部4、津山・英田1）